

6. 情報提供装置導入結果

バスロケーションシステムの導入結果についてシステムログデータより集計・分析を行った。

(1) バスロケーションシステムの概要

a) 対象路線

バスロケーションの対象路線は以下のとおりである。

表 6-1 対象路線

事業者名	対象路線
京成バス株式会社	市内線（西船橋駅～市役所～船橋駅、船橋駅～南船橋駅） 田喜野井線（津田沼駅～田喜野井地区～津田沼駅）
船橋新京成バス株式会社	市内全線
習志野新京成バス株式会社	市内全線

b) 接近表示器を設置したバス停留所

接近表示器を設置したバス停留所は以下のとおりである。

表 6-2 接近表示器の設置バス停

事業者名	接近表示器の設置バス停留所名
京成バス株式会社	西船橋駅 5 番、船橋中央病院、船橋市役所、 船橋駅 1 番・2 番、津田沼駅 7 番
船橋新京成バス株式会社	船橋駅、北習志野駅
習志野新京成バス株式会社	津田沼駅、北習志野駅

c) 導入日

- ・京成バス株式会社：平成 24 年 3 月 30 日
- ・船橋新京成バス株式会社および習志野新京成バス株式会社：平成 24 年 2 月 25 日

(2) バスロケーションシステムのアクセスログ集計結果

- ・京成バスのアクセス件数は、増加傾向にあり、平成 25 年 10 月時点で 2,724 件/月である。
- ・船橋新京成バスおよび習志野新京成バス（以下、新京成バスと言う。）のアクセス件数は、平成 24 年 1 月がピークでその後、ほぼ横ばい傾向にあり、平成 25 年 10 月時点で 852,889 件/月である。
- ・新京成バスの方が多く利用されている要因としては、京成バスの年間利用者数が 564 千人/年に対し、新京成バスは、約 26 倍の 14,890 千人/年と利用者が多いことが想定される。また、バス停留所に設置している接近表示器について、京成バスが 6 か所の設置に対し新京成バスは 3 箇所と少ないことも要因と想定される。
- ・バスロケーション情報は、移動中において携帯端末からのアクセスが多いと想定されるが両事業者ともに携帯端末の占める割合は、概ね 3 割程度とパソコンの利用が多い。

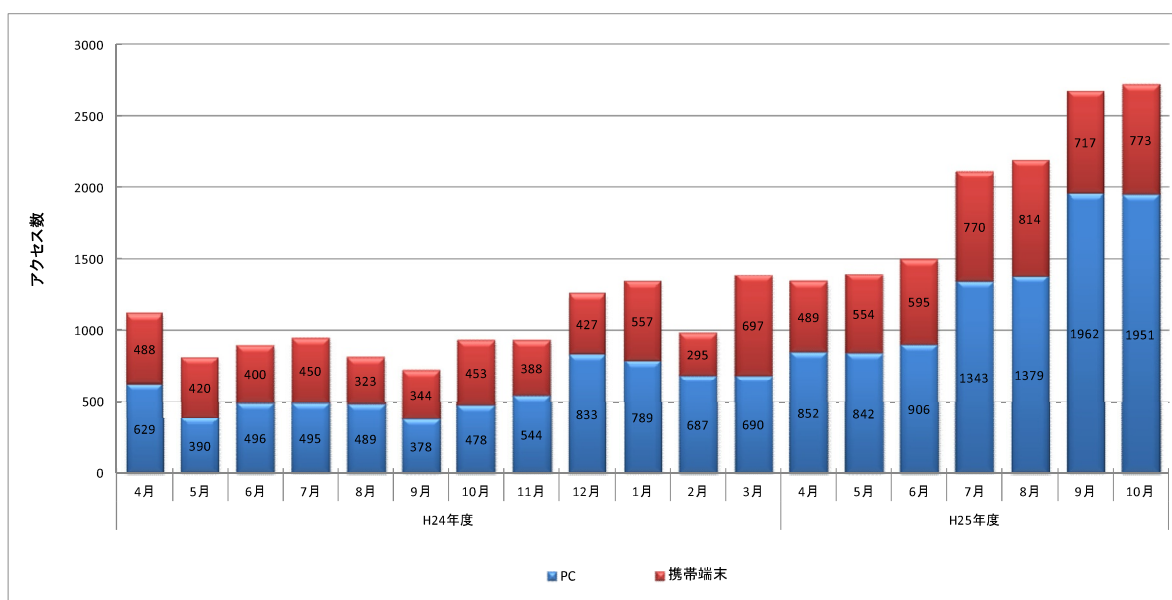


図 6-1 アクセス件数（京成バス）

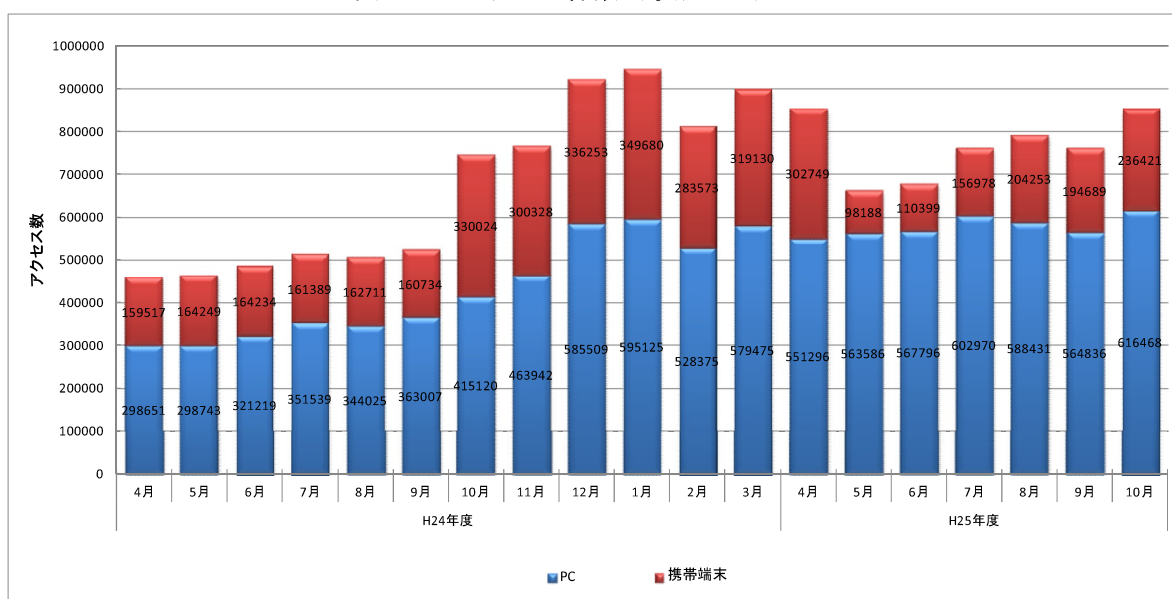


図 6-2 アクセス件数（船橋新京成バスおよび習志野新京成バス）